

子育て支援推進経費

(私立高等学校等経常費助成費補助金 (教育改革推進特別経費))

平成24年度予算案	46億7,200万円
(平成23年度予算額)	45億0,200万円)

I. 預かり保育推進事業

○預かり保育推進事業

幼稚園の教育時間終了後に「預かり保育」を実施する私立の幼稚園に特別な助成措置を講じる都道府県に対して、国がその助成額の1/2以内を補助。

○長期休業日等預かり保育推進事業

長期休業日及び休業日において、「預かり保育」を実施する私立の幼稚園に特別な助成措置を講じる都道府県に対し、国がその助成額の1/2以内を補助。

II. 幼稚園の子育て支援活動の推進

教育機能又は施設を広く地域に開放することを積極的に推進する私立の幼稚園に特別な助成措置を講じる都道府県に対して、国がその助成額の1/2以内を補助。

男女共同参画社会の加速に向けて第3次基本計画で強調されている点

・地域における身近な男女共同参画の推進等

・女性の活躍による経済社会の活性化
・男性・子どもにとっての男女共同参画

地域コミュニティの共同性の崩壊
生活していく基盤としての地域社会の創成

現代社会を取り巻く状況

東日本大震災 日ごろの地域づくりにおける男女共同参画の視点

人口減少と労働人口の減少
企業においては、女性に対する期待が高まる。<ダイバーシティ(人材の多様化)、ウーマノミクス(女性経済)>

未婚率の上昇
35～39歳男性34.6%
35～39歳女性22.4%
(男女共にH12比8.4ポイント増)
男性側の経済的なプレッシャー

男女共同参画社会の実現に向けた課題

- 地域づくりに参画する人材育成と地域づくりにおける男女共同参画の視点が必要
- 男性自身の固定的役割分担意識を解消し、男性にとっても生きやすい社会
- ・東日本大震災を教訓とした地域づくりにおける男女共同参画の視点の必要性
- ・男性が生計維持を担う男性の固定的役割のプレッシャー
- ・地域づくりに主に参画する主婦にとって、家庭との両立等が課題となり、人材の固定化・高齢化による人材不足
- ・男性の孤立、日常生活の自立困難(父子家庭、一人暮らしの高齢者、介護負担)

地域づくりに参画する女性の人材育成のための学習プログラムの開発

●検討会の設置及び調査研究の実施
東日本大震災の教訓を踏まえ、男女共同参画の視点を地域づくりに反映できるような女性人材の育成に必要な体系的な学習プログラム等について検討を行うとともに、地域づくりに参画する女性人材の育成について、好事例を収集するとともに、女性の人材が不足している地域活動の課題等の分析を行うための調査を実施

- 次年度以降
- 地域における学習モデルの試行的実施・検証
検証のポイント1)地域性(都市部、中核市、固定的役割分担が根強い地域)
2)災害の種類(地震、台風、原子力事故等)
 - 地域づくりに参画する女性の人材育成について、学習モデルを含めた提言を行い、全国的に普及

女性が自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画するための力を付け、さらには意思決定を行うレベルにおいても女性が意見を述べるなど、男女共同参画の視点を持って主体的に参画する人材が育成されることで、男女共同参画社会の実現が加速する

男性を対象とした男女共同参画についての学習機会の充実

●検討会の設置及びワークショップの実施
企画実施委員会を設置し、男子学生を対象としたワーク・ライフ・バランス、キャリアプランニング等について学ぶワークショップの手法・内容について企画し、大学と連携して男子学生を対象としたワークショップを実施する。

- 次年度以降
- ワークショップの検証結果を基に男性を対象とした男女共同参画の学習機会の充実について実施上のポイント等をまとめたハンドブックを作成し、全国に普及を図る。ワークショップの参加者の意識について追跡調査を実施。

男性が固定的性別役割分担意識からの解放され、仕事以外に家庭、地域への参画など、男性にとっても人生の中で多様な選択が可能となり、男性が男女共同参画を自らの問題として捉えることで、男女共同参画社会の実現が加速する